

2025年3月10日
KHネオケム株式会社
(証券コード 4189、東証プライム)

KHネオケム、「ニューズバルシンポジウム 2025」での発表のお知らせ

KHネオケム株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:高橋理夫)は、2025年3月10日(月)にアクリエひめじで開催の「ニューズバルシンポジウム 2025^{※1}」に参加いたします。シンポジウムでは、兵庫県立大学 山川進二 准教授と半導体技術に関する共同研究の成果を発表いたします。

2019年から極端紫外線(Extreme Ultraviolet;EUV)を用いたEUVリソグラフィ技術^{※2}による半導体チップの量産が始まり、半導体の微細加工技術は日々進歩しております。これに伴い、半導体製造工程で使用される金属含有量のごく僅かな高純度溶剤の品質が、これまで以上に重要な役割を担うようになりました。

当社は、EUVリソグラフィ研究の最前線をリードする兵庫県立大学 山川進二 准教授と協力し、半導体製造工程に不可欠なレジスト組成物中の溶剤の効果を解明すべく共同研究を進めています。高純度溶剤と兵庫県立大学ニューズバル放射光施設が有する軟X線を用いた材料評価を基点に、半導体産業のさらなる発展に貢献してまいります。

※1:シンポジウムホームページ:https://www.lasti.u-hyogo.ac.jp/event/20250310_NSS2025_v20241226.pdf

※2:波長が13.5nmの極端紫外線を用いた半導体露光技術。

【学会情報】

| | |
|-----|--|
| 学会名 | ニューズバルシンポジウム 2025 |
| 日時 | 2025年3月10日(月) 10:00~17:30 |
| 会場 | アクリエひめじ 兵庫県姫路市神屋町 143-2 (交通)姫路駅より徒歩約10分 https://www.himeji-ccc.jp/access.html#access |

【KH ネオケムについて】 ※2024年12月末時点。

| | | |
|--------|---|---|
| 社名 | KHネオケム株式会社 | |
| 代表 | 代表取締役社長 高橋 理夫 | |
| 設立年 | 2010年12月(前身の協和油化は 1966年11月設立) | |
| 資本金 | 8,855百万円 | |
| 本社 | 東京都中央区日本橋室町二丁目3番1号 | |
| 従業員数 | 連結829名 | |
| 事業内容 | 各種石油化学製品の研究・製造・販売 | |
| 主要製品群 | 機能性材料(冷凍機油原料・化粧品原料など) 電子材料(半導体およびフラットパネルディスプレイ用高純度溶剤など) 基礎化学品(塗料およびインキ用溶剤・プラスチック用可塑剤原料など) | |
| グループ会社 | 黒金化成株式会社／株式会社黒金ファインズ／KH Neochem Americas, Inc. ／晟化(上海)貿易有限公司 | |
| 沿革 | 1948年 | 協和産業(後の協和発酵工業)が、日本で初めて発酵法により、糖蜜からアセトン・ブタノールの大量生産を開始 |
| | 1949年 | 協和発酵工業設立(現:協和キリン) |
| | 1966年 | 協和油化設立(協和発酵工業の化学品製造子会社) |
| | 2004年 | 協和油化に協和発酵工業の化学品事業を統合し、協和発酵ケミカル発足 |
| | 2011年 | 協和発酵ケミカルが協和発酵キリン(現:協和キリン)グループから独立 |
| | 2012年 | 協和発酵ケミカルからKHネオケムへ社名変更 |
| | 2016年 | 東京証券取引所市場第一部に上場 |
| | 2018年 | VISION 2030 策定 |
| | 2019年 | オープンイノベーション拠点 KH i-Labを開設 |
| | 2022年 | 東京証券取引所の市場区分見直しに伴い、プライム市場へ移行 |

【本件についてのお問い合わせ先】

KH ネオケム株式会社 技術開発センター
TEL:059-331-5110